

# 「令和7年度 学校評価のための保護者アンケート」集計結果について

青森県立尾上総合高等学校 通信制の課程

先日ご協力いただきました「学校評価のための保護者アンケート」の集計結果をもとに、評価分析の概要もまとめましたので、ご報告いたします。回答数が在籍者の半分強なので、これをもって全体を論じることはできませんが、参考までに目を通していただければと思います。

学校としても職員全員で、この結果を今後の指導に生かしていきたいと思っております。保護者の皆様には、アンケートへのご協力に感謝するとともに、今後とも通信制の教育活動へのご協力をよろしくお願いいたします。

## 評価分析の概要

◎ 評価は、通信制在籍者153名の保護者のみなさんをお願いいたしましたが、そのうち回答をいただいたのが87名と、回答率が57%でした。ちなみに、3年前は53%、2年前は56%、去年は59%でした。毎年10月の保護者宛文書に入れて送付しておりますので、来年度はもっと多くの保護者の皆様からご意見をいただければと思います。

1	<b>好意的評価(「ある程度思う」以上)80%以上の項目が全体的に多かった。</b>  今後とも保護者の皆様のご意見を参考にしながら、よりよい学校運営に努めたいと思います。
2	<b>学校運営</b>  日頃から本校の教育活動にご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございます。生徒一人ひとりの要望に応じた教育活動の推進や、特色ある学校作りに努めてはおりますが、課題もまだ多くございます。近年の生徒数の増加により、新たな課題も出てきております。生徒が安心して学べる環境を提供するため、生徒及び保護者の皆様からの忌憚のないご意見をいただき、よりよい学校作りに努めて参りますので、今後ともご協力をお願いいたします。 年度始めに納入いただいている諸経費のうち、後援会費の前年度決算書と今年度予算書については、保護者宛文書でお送りしています。また、生徒会費については、生徒総会の時に生徒に配布しております。行事費や諸検査料等については、12月の保護者宛文書で関係文書をお送りし、使用しなかった分の諸費は返金させていただきます。他に不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。
3	<b>学習指導</b>  学習指導において、「分かりやすい授業を行っている」については、「そう思う・ある程度そう思う」が86%と、好意的評価をいただいています。生徒による授業アンケートでも、4点満点中の3.8点と高い評価となっています。本校教員も、ICTの活用を一層進めたり、補助プリントを活用したりと分かりやすい授業に努めており、好意的な評価をいただいております。 また「分かるまで丁寧に教えている」では、「そう思う・ある程度そう思う」が78% (1%増)、「あまり思わない・思わない」が8% (2%減)と、近年改善傾向が続いています。スクーリングだけではレポート作成が難しい場合、平日に「レポート指導日」を設けています。事前に担当教員に連絡を取り、ぜひ活用してください。また、スクーリングは、レポートに取り組み、理解できなかった部分の解説を受けるのが本来の姿です。予習せずに受けても、その時間だけで理解するのは難しいでしょう。通信制は通学が週に1日であり、自学自習が基本です。まずはレポートに事前に取り組むよう、ご家庭での声がけもよろしくお願いいたします。
4	<b>生徒指導</b>  各項目とも概ね好意的な評価をいただきありがとうございます。今年度は生徒指導的な問題が複数ありましたので、これからも保護者の皆様のご協力を得ながら学校での指導を丁寧に行って参ります。 また、様々な学校行事の目標として、人間関係をうまく形成すること、学校生活の中で周りの人と連携を深めること、公共の精神を培うことがあげられています。今年度の文化祭でも、アルバイトの経験等を生かして模擬店の運営に取り組む姿が多く見られました。通信制の生徒にとって、学校行事は貴重な体験をする場面だと思っていますので、ご家庭でも行事への参加についてご理解とご協力をお願いします。

## 5 進路指導

今年度は6月、11月の保護者と生徒向けの進路講話で最近の進学・就職状況、本校の過去数年の進路状況、これからすべきことなどを保護者の方と生徒にお話ししています。また、進路の手引き・受験の手引き・尾上野通信（進路だより）を通じて進路情報の発信を行い、進路活動の支援を強化しています。このような進路情報を材料にして、ご家庭でもお子さんの進路について話し合っただけであれば幸いです。

進路指導部としても、進路通信や進路相談を通して、より具体的な進路指導を実施して参ります。また、3年次生は、スクーリング日の進路相談の時間が増えますので、積極的に参加し活用していただければありがたいです。さらに、昨年度に引き続き、就職希望かつ未決定者を対象にひろさき若者サポートステーションから講師を招いて、卒業後の就職活動に備えた指導を開始しました。こうした取り組みの結果、生徒の就職意識が非常に高まっています。学校としてもさらなる進路実現の支援を強化したいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

## 6 保護者自身についての項目

「学校からの文書には必ず目を通している」・「スクーリング等の声がけをしている」の項目の割合が高く、状況把握や励ましに努めてくださり、ありがとうございます。

また、「生徒の進路」について、積極的に話し合っている割合が86%（7%増）と高くなりました。そのおかげもありまして、進路について前向きに取り組む生徒が増え、進学者・就職内定者ともに増加したものと思っております。

第1回保護者会において、スクールライフサポーターによる講演「子どもを支える『心』のケア」を行い保護者同士で意見を交換する場を、第2回保護者会において、「保護者カフェ（おつきさまカフェ）」を行い気軽におしゃべりする機会を設けることができました。このように、貴重な機会となっておりますので、保護者会への参加も引き続きよろしくお願い申し上げます。

最後に、「生徒を本校に入学させてよかったと思うか」については、「そう思う・ある程度そう思う」が98%と多くの保護者の方が「よかった」と思っております。生徒が、通信制の教育を全うし、卒業後の将来設計まで決めていけるよう、今後も保護者の皆様と連携、協力しながら努力していきたいと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。